

# 京丹後の米軍基地と戦争法を問う

戦争法廃止と立憲主義の回復をめざす戦後はじめての野党共闘による一大政治戦がはじまっています。こうした流れを一層大きくすることが大切となっています。一方、戦争法との関係では、北東アジア情勢の緊迫化を背景に、あたかも戦争法が役割を果たすかのような喧伝も行われています。

京丹後の米軍基地は、北東アジア情勢の悪化とともに、その危険性を増大させています。また、米軍関係者による交通事故は、事実上の泣き寝入りの事態を起こしており、現地では安全安心への不安を増大させています。今年2月16日、参議院外交防衛委員会が京丹後経ヶ岬米軍基地を視察しました。この一員に日本共産党の井上さとし参議院議員も参加されました。米軍司令官の説明や、京丹後市議会などとの懇談が行なわれました。この中で、新たなことも判明してきています。

そこで、戦争法施行のもとの安倍内閣の危険な動き、京丹後米軍基地の役割はどこにあるのかなどについて、井上議員に国会での論戦なども含めて縦横に語っていただきます。さらに、経ヶ岬米軍基地で何が起きているのか、現地から報告をします。緊急の学習集会ですが、ご参加をよびかけます。



写真：（上）経ヶ岬米軍基地。この中にXバンドレーダーが設置されている。（中左）米軍基地の警告板だが風で吹き飛ばされ放置されていた。（下右）今年2月に米軍属の送迎車が暴走し民家の間の駐車場から反対側の道路に落下。



井上さとし参議院議員

米軍基地内に初めて入り、中隊長から基地の説明を受けました。レーダーや発電機も見ましたが、写真撮影は禁止でした。田中議員の説明などで基地の問題点が明らかにされ、佐藤正久委員長（自民）も集団通勤の約束違反があることについて「知らなかった」と述べ、調査をすることを示すということもありました。戦争法廃止、米軍基地撤去実現へ全力を上げたいと思います。（京都民報より）

## 【内 容】

報告1 「安倍内閣による戦争法施行と危険な動き、そして京丹後米軍基地」

井上さとし参議院議員

報告2 京丹後米軍基地の現地報告

米軍基地建設を憂う宇川有志の会 永井友昭事務局長

と き 2016年5月20日（金）午後6時30分～

ところ ラボール京都4階 第8会議室（中京区四条御前西北）

主催：米軍基地いらない京都府民の会

連絡先：京都総評内 京都憲法共同センター気付  
電話075—801—2308